

令和7年
第132号
1月29日発行

ゆがゆ 議会だより

表紙：令和6年度湯川村子ども議会

- 主な内容
- ◆ 12月定例会等提出議案審議 P 1～3
 - ◆ 『村民と議会の意見交換会』開催！ ... P 4
 - ◆ 一般質問（8議員が村政を問う）..... P 5～12
 - ◆ 子ども議会・行政調査 P 13・14
 - ◆ 議会の主な動き・編集後記 P 15

村を担う未来の議員がこの子たちの中に...



一般会計補正予算 (第3号)を否決

**12月
定例会**

12月定例会が12月13日から18日までの6日間の会期で開催されました。

村長から提案された専決処分の認定をはじめ、補正予算など、4件が審議されました。また、16日・17日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し佐野村政について問いました。

令和6年度湯川村一般会計補正予算（第3号）が提案されましたが、村長交際費の増額の理由、ふるさと納税返礼品対応業務に係る村の対応、村道除雪委託料の積算内容等について不適切な内容があるとの理由から、賛成者少数（賛成3・反対5）で否決となりました。

また、一般会計補正予算と関連があった、令和6年度湯川村下水道事業会計補正予算（第2号）が撤回となりました。

村長の給料月額減額の 条例改正を可決 3ヶ月間基本給の10%を減額！

**12月
臨時会**

12月臨時会は、12月26日1日間の会期で開催されました。

村長から提出された条例改正3件、補正予算4件が審議され、全件可決されました。

また、追加議案として提出された条例改正について可決されました。

令和6年度湯川村ふるさと納税事業の事務手続きの不備や対応の遅れにより、寄附者からの不信感や、村の信用が著しく損なわれる等の混乱を招いたことの責任と、12月定例会における令和6年度湯川村一般会計補正予算（第3号）に不適切な内容があり、否決となったことの責任として、「村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について」が追加提案され、賛成者多数（賛成4・反対3・欠席1）で可決となりました。

これにより、令和7年1月分から令和7年3月分までの村長の給料について、基本給の10%を減額とすることになりました。



小学6年生が本会議を傍聴

児童の皆さんからいただいた感想文の一部を紹介します。

湯川村議会を傍聴して

笈川小学校 6年 [櫻井 晴]

湯川村本議会では、始まる前は議員さん同士で仲良く話していたけど、議会が始まると、一言も喋らず、緊張する雰囲気が伝わってきて、見ている自分達も緊張してしまいました。

子ども議会と違って、いろんな質問をしっかりと述べ、答える側もしっかり的確に答えていて、「さすが大人だなあ」と感じました。

もう一つ、子ども議会と違っていたのは、再度質問が何回も繰り返されて、大人の議会は、聞いたことをもとに、納得するまで質問を繰り返すのだなと思いました。一人一人の質問の時間が長くて、質問する方も答える方もどちらも大変だなと改めて感じました。

ぼくは、とても長くてずっと聞いているのが大変でした。だけど、湯川村本議会では、議員さんがぼくたち村民のために色々考えてくれているかと思うと、とてもありがたいです。

湯川村本議会で、議員さんたちの話し合いの仕方が、とても勉強になってよかったです。

湯川村議会を傍聴して

笈川小学校 6年 [中島 可子]

私は、湯川村本議会を傍聴して思ったことが3つあります。

1つ目は子ども議会との違いです。子ども議会では一般質問が1つだけでしたが本議会ではいくつも質問をしていて、質問する方も答える方も真剣に取り組んでいるのがわかりました。子ども議会とは空気が違うことに気がつきました。

2つ目は教育長さんと議員さんのやりとりです。私が傍聴した時に小学校統合について話をしていました。そこでは、湯川村をよくしたいという思いが私たちにも伝わり、私たちも湯川村を良くするために何か取り組めることはないかと考えなければと感じました。

3つ目は議員さんの質問についてです。1人の議員さんが1つの内容について約4つの質問をしていて、その多さにびっくりしました。湯川村にはこんなに改善することが多いということがわかりました。

本議会では、湯川村をどのようにしたら住みやすくなるかなどを考えて話し合われていることがわかりました。私たちも湯川村を良くするためにできることを探して取り組みたいと考えることができました。

湯川村本議会を傍聴させていただき、ありがとうございました。



湯川村議会を傍聴して

勝常小学校 6年 [坂本 悠羽]

12月17日に湯川村の議会見学に行きました。

議会では株式会社社会津のことや複合しせつの進捗などについてや、湯川村のアンケートの結果などについて話していました。アンケートの質疑応答がとくに印象に残りました。理由は2つあります。

1つ目はアンケートの回答率がすごく低かったからです。アンケートはほとんどの人が回答していると思っていたのですが、ぜんぜんちがって、1883人中788人しかやってなくて、回答率が約3分の1なのがすごくびっくりしました。

2つ目はアンケートのことにしてもものすごく議論していたことです。アンケートの結果の報告について言い争っているように見えて、子ども議会とはぜんぜんちがって、けんかをしているように見えました。これがふつうなんだと思いました。真剣さを感じました。

今回の議会見学で、これまで知らなかった湯川の政治を知ることができたり、議会のふんいきなどを学べたりしたので貴重な体験だったと思います。

湯川村議会を傍聴して

勝常小学校 6年 [佐藤 朝日]

ぼくは、12月17日に村で行われた議会を見学しました。ぼくは議会を傍聴している間に2つ気づいたことがあります。

1つ目は、声が大きくはきはきとしゃべっていたので、話が頭に入りやすいなあと思ったことです。

2つ目は、アンケート調査をしていたことです。なぜ、アンケート調査がすごいと思ったかというと、当たり前だけど調査を行ってそのアンケート調査を分析し、それにあった村の対策を考えているからです。

このように、湯川村村議会を傍聴して様々な貴重な体験をさせてもらいました。この体験を生かして、中学校、高校の学習に生かしていきたいと思いました。

第569回 12月定例会における議員の賛否の公表（12/13～12/18）

（湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。）

議案 番号	件 名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣 川 文 夫	伊 藤 幸 喜	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	篠 竹 正 弘	高 倉 好 博	斎 藤 賢 一	小 沢 甲 市	小 野 澄 雄
6 1	専決処分の承認を求めることについて （令和6年度湯川村一般会計補正予算（専決第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6 2	令和6年度湯川村一般会計補正予算（第3号）	否決	○	×	○	×	×	○	×	×	議長
6 3	令和6年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算 （第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6 4	令和6年度湯川村下水道事業会計補正予算（第2号）	撤回	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議員提出議案 第4号	福島県の自然と景観を過剰な再生エネルギー開発から 守るための法的な整備を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出議案 第5号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める 意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

第570回 12月臨時会における議員の賛否の公表（12/26）

（湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。）

議案 番号	件 名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣 川 文 夫	伊 藤 幸 喜	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	篠 竹 正 弘	高 倉 好 博	斎 藤 賢 一	小 沢 甲 市	小 野 澄 雄
6 5	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
6 6	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する 条例について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
6 7	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例につ いて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6 8	令和6年度湯川村一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6 9	令和6年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算 （第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
7 0	令和6年度湯川村下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
7 1	令和6年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
7 2	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する 条例について	可決	×	○	○	×	○	欠	×	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

『村民と議会の意見交換会』開催！

湯川村議会では、信頼される議会を目指し、村民の意見や提言などを直接聴取する機会として意見交換会を開催しております。

コロナ禍の中止期間を経て、今年度は12月20日に『高校生世代』を対象として開催したところ、高校1年生8名・3年生9名、計17名の参加をいただき、『湯川村の魅力や課題、今後期待すること』をテーマに、高校生世代が感じている生の声を聞かせていただきました。

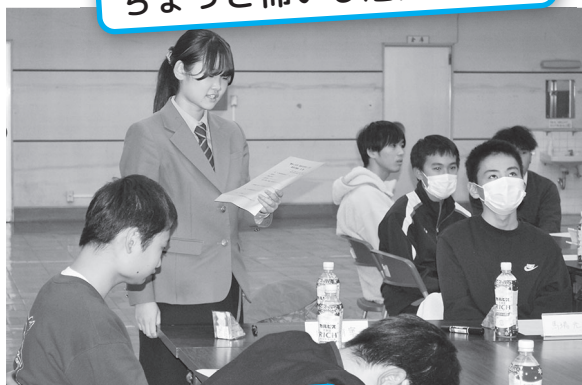
また、同時に行った高校生とその保護者を対象とするアンケート調査に多数の回答をいただき、誠にありがとうございました。

今回いただいた意見やアンケートは、内容を整理検討して、今後の議会活動に役立たせていただきます。

意見交換会



街路灯がない道が多い。
ちょっと怖いし危険です。



村に残ってと言われても、若い人
にとって魅力がない。



ドラッグストアとか、
いろんな買い物ができる
店舗が欲しい！



公共交通がとても不便。
何とかしてほしい！

快適に勉強できる図書館が
あればいいなあ。



村政を問う

一般質問

12月定例会

伊藤 幸喜 議員



令和7年度の予算編成と人口激減対策について

問 令和7年度の事業計画で本村が目指すものは何か伺う

答 人口減少は大変重
要な課題と認識して
おり、令和7年度は結婚・
子育て支援、教育環境の整
備、移住定住の促進、複合
施設の建設などを重点項目
として、村民一人ひとりが
豊かで希望が持てる村づく

りを目指してまいります。
また、令和7年度は「第
五次湯川村振興計画」の最
終年度となることから、施
策ごとの評価を行い、これ
からの10年間をどのように
運営していくかを慎重に協
議し、次期計画を策定して
まいりたいと考えておりま
す。

そのためには財源の確保
が前提となりますので、将
来にわたり持続的に発展可
能となる安定した財政運営
を続けるために、現在の事
業内容や補助金制度などの
有効性や費用対効果を確
認しながら、歳出予算の見
直しを進めてまいりたいと
考えております。

消防団の活性化について

問 団員不足対策につ
いて考えを伺う

答 湯川村消防団の定
数は220名で、現
在の団員数は176名とな
っております。

団員不足は全国的な問題
であり、本村におきまして
も団員の確保は年々難しい
状況になってきております。
村として、消防団の活動に
の向上や負担軽減のため、
団員の処遇改善や活動内容
の見直しなど消防団本部と
協議をしながら少しずつ改

善を行っているところであ
ります。

問 消防栓を用いた訓
練の改善策について
考えを伺う

答 消防栓につきまし
て、本体部分は村の
所有であります。地下の
給水施設は会津若松市の所
有となっております。

現在、消防栓の使用につ
きましては、会津若松市水
道局との協議により火事以
外には操作しないこととし
ており、その理由は、放水
による急激な水圧の変化に
より濁り水が発生し、供給
先に流れ出るという影響が
生じる恐れがあるためであ
ります。

◎提案

集落によっては、冬期間
水が流れていない地域があ
る。水利の確認と水利マッ
プを作成していただきたい。

問 秋季連合検閲を湯
川村内で実施できな
いか伺う

答 現在、秋季連合検
閲につきましては、
会津坂下町と連合で実施し
ているところであります。
近年、消防団員の負担軽
減を図るために、年2回の

検閲を1回にする動きや、
検閲の代わりにも実働的な訓
練を実施する消防団が増え
ております。
このような動向を参考に
しながら、秋季検閲の在り
方につきまして、消防団
本部や会津坂下町消防団と
協議してまいりたいと考え
ております。



秋季消防検閲式

子ども達の意見について

問 作文コンクール発
表会や、子ども議会
の意見を村政にどう活か
していくのか伺う

答 現在、子どもたちが湯川
村の施策や村づくり
について関心を深め、村へ

の愛着心や誇りを高める機
会として、少年の主張作文
コンクールや子ども議会を
実施してまいりました。
子どもたちからの意見や
提言は、子どもたちならで
はの目線や疑問などから出
されたものが多く、村とし
て「すぐに取り組めるもの」
や「時間、お金を必要とす
るもの」、また「実現が難
しいもの」などの整理を行
い、村政への反映につつま
しては、「どのようにつま
ば子どもたちの願いに答え
られるか」の視点で検討を
進めてまいります。

【これも質問】

問 令和7年度までに国土利
用計画目標としている59
haの宅地開発は達成でき
るのか

問 集合賃貸住宅建設を官民
連携のPFI又はppp
事業を活用した建設計画
について

問 空き家改修費用、解体費
用の補助金の見直しにつ
いて
問 放課後児童クラブ運営に
ついて



上記QRから
動画でご覧に
なれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

高倉 好博 議員



農業施策について

問

湯川村スマート農業機械実装事業の目標について伺う（農業者の普及率10%、作業時間の軽減10%の目標達成度）

答

農業従事者の高齢化による作業負担等の問題を解消するため、農作業の省略化、作業負担の軽減を目標に、湯川村スマート農業機械実装事業において、水位センサーの貸出事業を実施いたしました。



問

湯川村の農業をこれからのような形として進めていくのか伺う

答

本村の農業者数は年々減少しており、加えて高齢化も進んでおり

普及率は7%で、目標としていた10%には及びませんでした。貸出者数は農業者26名と協議会1組織で、貸出台数は291台、設置場所は291ヶ所でありまして、多くの農家の方に利用していただきました。また、水田管理に係る作業時間の軽減につきまして、通常管理の場合と水位センサーを導入した場合を比較したところ、ほ場1枚に係る平均の見回り回数、31%の減少という結果になり、目標に掲げた作業時間の軽減（10%）については達成することができました。

ます。この状況を踏まえ、担い手や法人だけでなく、中小の個人農家も含め農業関係者全体で本村の美田を維持していく必要があると考えております。

高齢化した農家にとって負担の大きい作業の負担を少しでも軽減し、農業を継続していけるよう、これまで実証してまいりましたスマート農業機械技術の活用を推進してまいりたいと考えております。例えば、スマート農業技術の一つである直播を行うことにより、多くの手間暇がかかる育苗や、田植え機の更新、田植えの際の苗運びといった作業が省略でき、高齢農家であっても無理なく田植えまでの張る作業を行うことができますと考えております。また、直播で難しいとされる除草や水の管理についても、水位センサーを活用することで、何時でも水田の状況を把握することができ、適切なタイミングで除草剤を散布することが可能となります。

児童生徒の体力向上について

問

児童生徒の体力向上対策の現状について伺う

【教育長答弁】

答

本村では、児童生徒の体力向上のため、小学校から中学校までの全員が行う「新体力テスト」の結果を各校で分析し、課題解決のための手立てを策定しております。教育委員会では、この取組を確実に実施するよう、村の校園長会議や教頭等合同会議などで指導しております。小学校においては朝の時間を利用したマラソンやサーキット運動、縄跳びに取り組んでおり、2校合同で実施しているマラソン記録会に向けて持久力の向上を図っております。中学校では全生徒が部活動に所属し、毎日熱心に練習に取り組んでおり、朝も生徒が自主的にマラソンを行っております。



問

児童生徒の体格は国や県の平均と比べてどのような状態なのか伺う

答

各校では、毎年児童生徒の身体測定を実施しております。福島県から公表された「令和5年度学校保健統計結果」と比較しますと、湯川村の児童生徒は、男子は全国や県平均より身長・体重ともに下回っている学年が多くなっております。一方、女子は身長で全国や県平均を上回っている学年が多く、体重については全国や県平均よりも下回っている学年が多くなっております。肥満傾向出現率につきましては、肥満度20%以上は、男子で小学1・4・6年生、中学1・2年生で全国平均を上回り、女子では小学3・5年生と中学2年生が全国平均を上回りました。今後、各校の体力向上対策を推進するとともに、村保健センターとも連携しながら児童生徒の健康増進に努めてまいります。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

三澤 榮二 議員



道の駅ゆがわ会津坂下の経営について

問 経営理念や此れからの計画について伺う。

答 毎年、湯川村議会6月定例会において、当該年度の事業計画及び基本方針について、報告議案として説明しております。

第12期の基本方針は、
・湯川村、会津坂下町の地域振興を図ることを第一に管内経済の向上に寄与する。
・わかちあい・ともに祝う手づくり10周年祭を企画

し、感謝を伝える。
・一人でも多くのお客様、会員、従業員に感謝を伝え、さらに信頼を深める。
・「出荷するのが楽しい」「買い物するのが楽しい」道の駅あいづの雰囲気づくり以上4点と伺っております。

これからの計画につきましては、
・販売を通じた地域社会の発展に寄与。
・安心安全な品質管理。
・地元業者との連携による商品力の強化。
等を実施すると伺っております。



道の駅あいづ10周年記念祭

問 道の駅開業10周年祭りの状況、経費、入場者数や相乗効果について伺う

答 10周年記念祭につきましては、日頃からご愛顧をいただいているお客様への還元として長期間のイベントを開催しております。

つきましては、最終的な報告があるものと認識しております。

相乗効果につきましては、昨年同時期と比較し、より多くの方に来場していただいていることから、湯川米を始めとする地元農産物等の魅力をこれまで以上に広く発信することができたと考えております。

問 道の駅からの祭典のための寄附金について、どのように処理されたか伺う

答 令和5年3月30日に株式会社湯川会津坂下から湯川会津万円の一般寄附金（内訳は10周年準備金200万円、基金積立金300万円）の申込がありましたのでこれを受納し、村では令和4年度湯川村一般会計補正予算（専決第1号）として500万円のうち200万円は10周年準備金として財政調整基金に、300万円は湯川・会津坂下地域振興施設整備基金にそれぞれ積み

立てを行ったところであり
ます。

問 利用される方の意見を聞くための意見箱の設置について伺う

答 意見箱につきましては、現在はインフォメーションセンタービル（事務室）前のカウンターに設置しており、何時でもご意見を頂戴しているところであります。

引き続き、会津坂下町、指定管理者である株式会社湯川会津坂下との連携を密にしなが、地域振興施設の管理に努めてまいります。

村道の補修と拡張工事計画について

問 中ノ目集落内の東西に横断する道路は狭いため拡張整備工事の考えについて伺う

答 中ノ目集落内中央道中ノ目五号線につきましては、延長が166.8m、幅員が2.7mから4.5mと狭く、車一台が通れるほどの幅員となっております。

現時点で拡張整備計画はありませんが、狭隘道路に
関する取組として建築確認申請提出前に幅員4m未満の道路に敷地が接している場合、建築基準法第42条第2項の規定によりみなし道路協議を行い、道路の中心線から2メートル後退していただき用地を譲与又は売渡しの承諾をもらう取組を行っております。

なお、用地を寄付していただいた場合には、後退用地にある門、塀等の障害物の撤去費用について50万円を限度額として助成金をお支払いしております。

村道の補修につきましては、区や村民の方から要望があった場所を始め、傷んだ舗装、側溝等の補修を行っております。また、パトロール等で傷んだ箇所があった場合には、簡易的な補修について随時職員で対応しております。

今後、安全・安心な交通を確保するため道路の維持管理に努めてまいります。



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

斎藤 賢一 議員



ふるさと納税寄附者への対応について

問 このような対応をしなくてはいけないかった要因は何か伺う

答

令和6年度の湯川村ふるさと納税事業につきまして、返礼品の減量や寄附金の返還の対応を取らざるを得ない事態を招いてしまった要因は、村の事務処理における判断や対

応の遅れによるものと深く反省しているところであります。

今年のコメ価格の値上がり幅は予測を大きく超えるものではありましたが、募集段階において、これまでの慣例的な事務処理のもと、調達価格が確定していない中で募集を始めたことが大きな要因であると考えております。また、価格高騰の兆候を察知した時点で速やかに対応をとるべきでありました。

今後は、二度とこのようなことが起こらないように事務処理の改善を行うとともに、寄附者の皆様の信頼回復に努めてまいります。



問 今回の対応をするまでに村としてどのような調査（検討）をしたのか伺う

答

10月9日に返礼品提供事業者から提供価格の見積書の提出を受けましたが、寄附額の3割を超える価格であり、価格値下げの交渉をしましたが、基準の3割を大きく超える価格でした。

そのため、総務省自治税務局市町村税課長通知「ふるさと納税制度の適正な運用について」の内容に基づき対応を検討し、県や総務省に確認したところ調達費用を基準内とする以外に方法はなないとのことであったことから、数量の変更により対応せざるをえないと判断し、返礼品の数量を10kgから7kgに減量するか寄附金の全額を返金するか、どちらかを寄附者の方を選択していただくこととしました。

道の駅会津からの寄附金会計処理について

問 この寄附はどのような使い道で寄附を受けたのか伺う

答

株式会社湯川会津坂下から湯川村に対し、一般寄附金として500万円の申込があり、内訳につきましては、10周年準備金200万円、基金積立金300万円と記載されておりました。

問 その後、どのような会計処理をしたか伺う。

答

村では、この寄附を受納し、令和4年度湯川村一般会計補正予算（専決第1号）に寄附者からの申出の内容に基づきまして、歳入の一般寄附金に500万円を計上し、歳出の財政調整基金元金積立金に200万円、湯川・会津坂下地域振興施設整備基金積立金に300万円を計上いたしました。

その後、今年の9月定例会におきまして令和6年度湯川村一般会計補正予算（第2号）の中で、道の駅あいづ10周年祭負担金150万円を歳出予算に計上するに当たり、令和4年度に受納した一般寄附金を財源として充当するため、財政調整基金繰入金を歳入財源とする予算を上程しましたが、当該財源の充当は、道の駅

の寄附として適切な会計処理ではないとの御指摘をいただき、負担金の財源については、ふるさと創生基金（ふるさと創生事業分）繰入金を充当することが適当と判断したため、議案の訂正をさせていただいたところであります。

村では、当該事案を真摯に受け止め、株式会社湯川会津坂下代表取締役から今回の寄附受入に関する一連の事務処理について、寄附の本意を確認するとともに、今後の事務処理について適正かつ疑念を抱かれることのないように注意するよう確認をしたところであります。

〔これも質問〕

空き家の利活用について

問 中古住宅取得に向けた補助金を創設について。

問 若者定住促進事業補助金の加算について。



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

篠竹 正弘 議員



ふるさと納税について

問 今回の対応、対策の考えや指示について伺う

答

今回のふるさと納税に関する一連の事態につきましては、全国の多くの寄附者の皆様に対して、返礼品の減量や寄附金額の返還の対応を取らざるを得ない事態を招いてしまった要因は、事務処理にお

ける判断や対応の遅れによるものと深く反省しているところであります。

米価の高騰につきましましては、夏場以降、報道などでも取り上げられておりましたので、返礼品提供事業者からの調達価格については大変危惧しておりました。

そのため、事業者に対して調達価格が寄附額の3割以内になるようお願いするとともに、早期に最終的な見積を提出していただくよう連絡をとらせていただいたところであります。コメ価格の値上がり幅は、予想を大きく超えるものでありましたが、米の価格高騰が具体化した段階で速やかに受付を中止するという判断は可能であったと反省しております。

また、今回の事態については、国の基準を順守し、経緯と対応方法についての情報公開を丁寧に行い、真摯に対応するよう指示したところであります。

問

全寄附者への信用回復のための対応策、村の誠意について伺う

答

今回の件につきましては、寄附者の皆様に対して大変な御迷惑をお掛けしてしまい、また、湯川村に対する信用を損なうような結果となつてしまったことは、断腸の思いであります。

しかしながら、お詫びの物品を送ることは、その購入価格も返礼品の調達価格に含まれてしまうこと、また、募集に際して物品を提供しているものとみなされかねないことから、その考えはございません。

問

今回の事態について、役場全体で対応しているのか伺う

答

ふるさと納税業務につきましては、総務課政策財務係が担当している業務であります。

今回の事案及び対応につきましましては、庁内全体で情報を共有し、大量の郵便物の発送など人手を要する場合には、他の課からの応援を受けながら対応してきたところであります。

また、通常業務もあるこ

とから、業務量の分散と平準化を図るため、総務係も含めて総務課全体で対応することといたしました。

電話対応などにつきましては、個人情報や寄附の状況を確認しながらの作業となることから、当初は特定の職員が対応しておりましたが、現在は可能な限り課内で分担して対応しております。

コミュニケーションをとりながら職員一人一人の心身のケアに十分配慮しながら作業を進めているところであります。

冬季除雪について

問 市販の除雪機を配備する考えはあるか

伺う**答**

冬季の除雪事業は大変重要なものと考えております。

村では、村内の主要道路や通学路、歩道の除雪体制を整え、住民生活に支障が生じないように除雪作業を行う予定であります。

市販除雪機の配備につきましましては、除雪体制のひと

つとして、住民の安全・安心確保につながるものと考えられます。

一方、運用する人員体制を始め、対応するための除雪機の配備数、保管場所、機械の運搬、保険、事故及び故障等の対応、燃料、メンテナンス等の維持管理費も発生することから今後、調査研究してまいりたいと考えております。



今年の除雪風景



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

片桐 英子 議員



今年度設置の学校司書について

問 設置から8ヶ月が経過したが、順調に業務が遂行されているか伺う

【教育長答弁】

答 今年度より、司書の資格をお持ちの方を図書支援員として採用し、週4日、1日6時間勤務で、村内小中学校3校の学校図書室、幼稚園、ユースピアの図書コーナーで司書業務



ユースピアの図書コーナー

を行っております。業務内容は、図書の発注及び受け入れから、分類、目録作成、レファレンス、貸出業務などを専門的に行います。夏休みまでは、各学校の要望に応じた活動をしてきましたが、2学期からは湯川中学校の学校図書室の環境整備を重点的に行っております。

ただ、今回、諸事情により退職されることとなり、代わりの司書有資格者を募集したのですが、応募がないため、司書の資格のない方でも図書室の整備や読書活動の推進に関心や見識がある方を募集したところ、適した方がみつかりましたので、今年度末までの会計年度任用職員として採用しております。

義務教育給食無償化の対象者について

問 村外の学校への通学者も給食費無償化にするために、実施要綱を変更できないか伺う

【教育長答弁】

答 給食費無償化の対象者は、実施要綱にあるとおり「村立小・中学校に在籍する児童生徒」となっております。

それぞれの御家庭ごとの様々な理由や事情、考え等があつて、村外の小・中学校に通学している方もおられますが、給食費の無償化の条件は、「湯川村に住居があること」と「湯川村立の小・中学校に通学していること」の2つであることをご理解いただきたいと思います。



無償化された学校給食

【意見】

村外通学者も村民です。子育て支援としての無償化は等しく受ける権利はあると思います。

通いの場の目的について

問 通いの場の目的について伺う

【答】

通いの場の活動は、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりを目的としており、高齢者の健康維持や介護予防に資すると考えております。また、通いの場は、高齢者を中心とした地域の住民が集い、つながりが生まれる場であるとともに、高齢者が時に担い手となり、時に支えられる立場となりながら活躍できる場であることから、地域共生社会の実現という観点からも重要な取組であると考えております。

現在、33集落中23の団体で実施しており、年間の活動内容は、実施団体が主体的に計画し、運営を行っております。

今年度から、フレイル予防、メタボ対策として、各集落とは別の活動として、村体育館を利用し週1回運動ができる「通いの場」として「サーキットトレーニング教室」を開催しております。効果も出ております。

安否確認の方法について

問 緊急通報装置以外の安否確認方法の研究、検討結果について伺う

【答】

現在村では、「日常生活用具給付等事業」において、ひとり暮らしの高齢者等で常時注意を要する高齢者世帯を対象に、緊急通報システムの設置を推進し、高齢者の不安解消と日常生活の安全確保を図っております。

また、通信機能を搭載した「みまもり電球」についても購入・設置費の全額助成を行っており、要件や助成対象の機器等について現在も継続して検討しているところでもあります。

また、地区の民生児童委員、保健センター、地域包括支援センター、民間事業者等の関係者が連携・協力し、見守りが必要とする高齢者の把握や定期的な訪問等を行いながら、安否確認や孤独の解消を図るとも必要ないかと考えております。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

廣川 文夫 議員



（株）会津湯川ファームについて

職員体制について伺う

答

現時点においては、代表取締役1名と常勤に近い臨時職員1名による2名体制で、農繁期には、必要に応じ臨時職員を雇用しております。

湯川ファームと現状の課

題等について話し合いを行い、一番の課題に上がったのが人員不足に関する問題です。村としては、職員の採用について協力していくことをお伝えしております。

また、農業分野における地域おこし協力隊の募集を行っておりますが、先ず湯川ファームで実務研修を受け、基礎力を身につけてもらい、協力隊の卒業後は湯川ファームの社員や本村の担い手農業者として活躍して欲しいと考えております。

複合施設について

現在の進捗状況について伺う

答

現在、新たな候補地を含めて建設内容について検討しているところであります。令和10年4月に開所できるよう様々な諸条件について確認するとともに、施設の機能や諸室の要件の整理を行っております。

地方議員の調査権について

調査権に対する考え方と対応について伺う

答

地方自治法98条に於いて、地方公共団体の議会は、当該団体の事務に関する書類及び計算書を検閲し、報告を請求して、当該事務の管理、議決の執行及び出納の検査を行うことができること、また、監査委員に対し当該団体の事務に関する監査を求め、監査の結果に関する報告を請求することができると定められております。

この権限は、議会に認められたものであり、その行使のためには、議決を要するものであります。

議員活動におきまして行政各般にわたり資料収集を中心とした調査活動が必要であることは十分に承知しておりますので、村としてしましては、議員から資料の請求があった際には、可能な限り対応しておりますが、非公開の資料など、案件によりましては提供できない場合もございますので、御理解をいただきたいと思います。

【教育長答弁】

答

教育委員会では、「湯川村の小学校の『あるべき姿』」についてのアンケートを、「中学生以上の村民の方を対象にしたもの」と「小学校3年生から6年生までを対象にしたもの」の2つを実施いたしました。

それぞれのアンケート結果は、現在村のホームページで公表しております。

未回答の方の意向をどう捉えるのか伺う

答

「中学生以上の村民の方」を対象としたアンケートの回答率は「29.6%」であります。残念ながら1,873人の方はアンケート未回答となりましたが、一般的に実施されているアンケートの回収率として、十分活用できるものと判断しており、未回答の皆様が、「無関心」、または「反対」といったわけではないものにとらえております。

「小学校のあるべき姿検討委員会」においても、アンケート結果を尊重し協議を進めていただいております。

問 小学生へは今後どのように対応していくのか伺う

答

「中学生以上の村民の方を対象としたアンケート」では、統合が望ましいと回答した割合が多数だったのに対し、「小学校3年生から6年生までを対象にしたアンケート」では、統合を望まないとの回答が多数となり、異なる結果となりました。

アンケートの結果の数値だけを見て、判断するのはなく、子どもたちの願いや気持ちに真摯に添えていくことが大切であると考えております。子どもたちにとってより良い教育環境を提供できるよう、今後も検討してまいります。

【これも質問】

問 地域学校協働本部の、各園、小、中学校の活動状況について



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

小沢 甲市 議員



備蓄米取組者への対応について

問

備蓄米生産農家への補助の考えを伺う

答

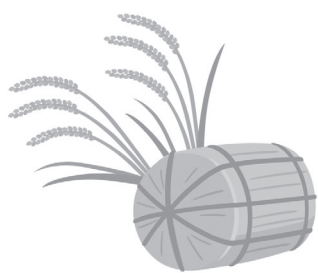
令和6年産米の価格は異常な高騰を示しております。それはJ-A

の買取価格にも現れており、途中でコシヒカリが18,000円から21,600円に、備蓄米においても13,400円から15,000円にそれぞれ増額されております。

一般米と備蓄米との価格差を見ると開きがあり、需給調整に大きな影響があることは認識しております。

村としましては、備蓄米や飼料用米制度等は国の制度であるため、東北農政局の職員が来庁された際には、この問題についてお伝えし、対応をお願いしたところであります。

また、先月、本県選出国會議員が来庁された際にも、



この問題をお伝えし、対応を要望いたしました。
なお、村独自の需給調整対策として本年度も備蓄米や飼料用米に対する定額補助は実施する予定であります。



地吹雪を防ぐ防雪柵

防雪柵設置と集落内の狭隘道路の除雪について

問

防雪柵設置及び撤去委託作業と狭隘道路の除雪作業についての考えを伺う

答

今シーズンの降雪情報は、平年並みか多くなる予報であります。

防雪柵設置・撤去委託作業につきましては、令和3年度まで村直営で作業を行っていましたが、令和4年度から作業員の高齢化等に伴い人員確保が難しいため業者委託に変更し防雪柵の設置・撤去を行っております。

また、狭隘道路の除雪作業につきましても、令和3年度まで集落の皆様に協力していただき、村がトラックを借り上げて除雪を行っていましたが、高齢化に伴う人手不足や安全面等を考慮し、令和4年度から民間業者に作業委託して除雪を行っております。

除雪作業等を委託する各自治体では高齢化等による担い手不足で請負業者との契約が厳しい状況が続いており、来年度以降について、今までどおりの民間委託と

するか村がオペレーターを確保し除雪機械をリースして直営で除雪事業を行うか検討してまいりたいと考えております。

村民の皆さんが冬道を安全・安心に通行できるように取り組んでまいりたいと考えております。



狭隘道路の状況



上記QRから動画でご覧いただけます。

第3回子ども議会 開催について

総務文教委員 片桐 英子

7年前、湯川村合併60周年記念行事として、小・中学生による子ども議会が初めて開催されました。子ども議会は、村の現状や将来に目を向け、課題を設定し解決策を模索します。この事は民主国家に生きる我々に、必要な資質を育てる事に繋がります。関係者の方の負担は増えますが、毎年実施して欲しいと希望しましたが叶いませんでした。しかし、小学生だけでなく、昨年より実施され、今年は小・中学生参加の第3回子ども議会が開催されました。

今後、毎年開催となれば児童生徒の村に対する問題意識も育まれるだろうし、村当局も村政運営の参考になります。

更に、AI時代を生きる

これからの子ども達にとって、課題を見つけ解決の道筋を見つけるという能力は必要だと思うし、子ども議会はその能力を育ててくれると思います。



子ども議会

令和6年度湯川村自治
功労表彰式において、
斎藤賢一議員が『特別
功労表彰』、篠竹正弘
議員が『功労表彰』、
小沢甲市議員が『感謝
表彰』を受賞

謝辞 斎藤 賢一議員

平成23年の初当選以来、12年を超える期間、湯川村議会議員として、全ての村



民が笑顔の絶えない毎日を過ごせるように、教育・地域経済・福祉政策を推進し、村の振興と発展のため、日々職務を全うしてまいりました。

私たち受賞者は、今日の感激を忘れることなく、また受賞した表彰に恥じることのないよう、これからも湯川村の更なる発展に貢献していく所存であります。

湯川村議会 行政調査報告

去る11月21日～23日、富山県の自治体で行政調査を実施しました。

富山県朝日町を訪問

経済常任委員会

委員長 三澤 榮三

朝日町は富山県の東端に位置する町で、海拔0メートルのヒスイ海岸から標高3,000メートルの北アルプス朝日岳など、自然に恵まれた町です。

朝日町総合戦略のキャッチフレーズは

・変えるんです 朝日町
・変わってきているんです 朝日町

で、『ここまでやらなければ町は変わらない』

と危機感を持ち、変革に取り組んでいます。

目標に掲げている『子育て日本一のまち』、『移住定住の促進』、『企業誘致』は、他の自治体でもよ

く目にするものですが、それぞれに特徴があり、とても参考になるものでした。



例えば、『おうちで子育て応援事業』は、自宅で子育てをする場合、生後6か月～2歳の誕生日まで月額6万円支給、2歳の誕生日翌月～3歳の誕生日まで月額3万円を支給し、家族が愛情を持って子育てすることを応援しています。

この事業を始めてから各家庭での子育てが増え、町の補助金額は増加しましたが、保育所の該当クラスへの入所数が減り人件費等が削減されたことによって、トータルでは経費削減につながっているとのことでした。

富山県舟橋村を訪問

総務文教常任委員会

委員長 伊藤 幸喜

先日、富山県舟橋村へ合同常任委員会で県外行政視察に行つて参りました。

舟橋村は、面積が日本で一番狭い自治体で3.47km²と全国で最も小さい自治体で、本村の約5分の1の面積であります。

村全体で人口減少対策に取り組む、平成12年では、2,153人の人口に対して現在は3,900人と増



加率全国2位になるなど世帯数ともに大幅に増加が続いている自治体であります。その大きな要因は、近隣の市、町に近距離で通勤で



きる本村と似た恵まれた地理条件を活かし、官民一体となった住宅造成が図られて来た結果、人口増につながり又、企業も自然と、人土地を求めて集まって来ていると伺いました。

また、「子育て共助のまちづくり」を掲げ若い世代が休日楽しく過ごせるように、公園づくりに力を入れ「月イチ園むすび」と銘打ち子供達や保護者のア

イデアを取り上げ多くの親子連れを呼び込む為、毎月公園でイベント企画をした結果、若者たちが増え続け、魅力ある村づくりが人口増につながったと説明を伺うことができました。

人口減少問題はあらゆる業種や民間企業の将来を左右する大きな課題。10年後20年後を見据えた人口減少対策を、地の利を活かした村独自の対策が必要と思われた行政視察でありました。



湯川村議会の主な動き

11月

- 1日 戸ノ口堰土地改良区令和6年度五穀豊穰感謝祭・式典・祝賀会
湯川村チーム（野球・ソフトボール）合同報告会
2日 令和6年度湯川村教育委員会表彰式並びに第10回湯川村
3日 ここがふるさと小学生作文コンクール「少年の主張発表
会」及び作文コンクール表彰式
湯川村産業文化祭2024
5日 議員全員協議会
6～8日 定期監査
7日 第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会湯川村選手壮行会
8日 会津・野岩両鉄道の経営計画見直し説明会
10日 消防団秋の防火パレード
湯川村文化協会講演会
12日 第34回両沼地方町村議会大会決議事項の国に対する要望
13日 第68回町村議会議長全国大会・研修会
21日 会津総合開発協議会臨時総会
小熊衆議院議員との打ち合わせ会
23日 国道121号若松北バイパス起工式
26日 子ども議会
27日 議会全員協議会
28日 例月出納検査
29日 令和6年度湯川村戦没者慰霊祭
30日 ゆがわ幼稚園発表会

12月

- 3日 湯川村自治功労表彰式 **写真**
4日 議会運営委員会
議会全員協議会
6日 湯川村選挙管理委員会忘年会
8日 メタバース完成披露・説明会
ゆがわウインターイルミネーション点灯式
13～18日 第569回定例会
14日 あいづ塩川湯川LCクリスマス家族会2024
15日 令和6年度湯川村婦人消防クラブ総会
16日 総務文教常任委員会
17日 広域市町村圏整備組協議会運営委員会
20日 議会と住民との意見交換会
23日 議会運営委員会
25日 例月出納検査
26日 第570回臨時会
広域市町村圏整備組協議会臨時会

令和7年1月

- 7日 新春の集い **写真**
9日 議会全員協議会
12日 令和7年消防出初式
14日 交通安全祈願祭・同直会
15日 会津を拓く講演会・同懇親会
22日 広報公聴委員会
23日 湯川村農業委員会新年会
24日 会津東部土地改良区新年会
26日 文化財防火訓練
28日 例月出納検査



議会中継 録画配信のご案内

湯川村議会では、年4回（6・9・12・3月）の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。

一般質問は、行政に対し疑問点をただし、所信の表明を求め、政治姿勢や政策の目的・効果を明らかにさせるなど、議員の花形ともいえる議会活動の一つです。

スマホやパソコンで見ることができますので、この機会にぜひご覧ください。



編集後記

新春、あけましておめでと
うございます。

この冬は雪が少なく、穏や
かな正月を迎えることができ
ました。

昨年は米価が二万円をこえ、
農家にとっては再生産に向け
希望に満ちたことと思います。
今年も価格の維持が続けばい
いと願うばかりです。

新型コロナウイルスとイン
フルエンザの感染者が急増し
ている状況であります。

感染予防を徹底し健康で充
実した日々をすごして頂きた
いと思います。

（廣川文夫）

議会広報広聴委員会

廣伊片 三 小
川藤 委 澤 副 沢 委
文幸 英 員 榮 員 甲 員
夫喜子 三 市 長